

校内研修 だより

平成16年4月6日

No. 1

(宮崎)

黄金の三日間

「黄金の三日間」は、新年度、学校が始まって三日間のことを言う。
なぜ「黄金」なのか。それは、最初の子供も「おりこう」だからである。
教室で、きちんとしている。
教師の言うことを聞いている。
誰も、おしゃべりや、遊びをたのめられない。
休み時間には、先生が来てくれる。いろいろなことを教えてくれる。
天使のような子供たち。
な教師は、この状態が、いいのだ。
「自分は教師で、子供を教えるのが仕事だ。」
大切な三日間を、おしゃべりや、思いつきの活動で浪費してしまっている。
黄金の時間、一週間でも一週間しかないのに、それを浪費してしまっている。
この三日間は、あの静かな朝から、あの静かな夕暮まで、
では、黄金の三日間、子供たちが、何をすればいいのか。

「ウェイ 2002.4」より

何をやればい

する